主題：神の建造の内在的な構成を知り経験する

メッセージ　18

神と一になり神で構成されて、神を生き神を表現し、神と共に行動し神を代行して、建造し建造される神を供給することで活動する神となり、神の建造を内在的に構成する

聖書：サムエル下 7:12-14 前半．マタイ 16:18．
Ⅰコリント 6:17．ヨハネ 15:4．エペソ 3:17 前半

Ⅰ．神は彼のエコノミーの中で、彼の選ばれ、贖われ、再生された人が彼と一になり、彼で構成され、彼を生き、彼を表現し、彼と共に行動し、彼を代行することを願っています――Ⅰコリント 6:17．ヨハネ 15:4：

Ａ．神の選ばれ、贖われ、再生された人として、わたしたちは神と一になるべきです――Ⅰコリント 6:17：

１．聖書の基本的な原則は、神が彼のエコノミーの中でご自身を人と一にならせ、人を彼と一にならせつつあることです――ヨハネ 15:4。

２．神は神聖な命と人の命が共に結合されて一つの命となり、一つの生活を持つことを願っています――Ⅰコリント 6:17。

３．聖書で神と一になることは、神とミングリングされることを意味します。神との聖書的な一は、わたしたちが神の中に入り、神がわたしたちの中に入る一です――1:30．Ⅱコリント 13:5．ヨハネ 15:4。

４．神の意図は、わたしたちを壊し、命また性質としてのご自身をもってわたしたちを再建して、わたしたちが彼と絶対的に一になることです――Ⅱコリント 4:16．5:17。

５．Ⅰコリント第 7 章で、すべての環境、状況、状態の中で主と絶対的に一であることの原則を見ます。この章は、主を愛し、地上での主の権益を顧慮し、絶対的に主のためであり、主と一であり、あらゆる面で従順で、服従し、神と彼が案配した環境に満足する人の霊を伝達します――17, 24 節。

Ｂ．神の選ばれ、贖われ、再生された、神と一である人として、わたしたちは神で構成される必要があります――エペソ 3:17 前半．コロサイ 3:10-11：

１．神のエコノミーとは、ご自身をわたしたちの存在の中に分与して、わたしたちの存在が彼の存在で構成され、彼の存在と一つの構成となることです――エペソ 3:17 前半．4:4-6。

２．神聖な存在として、神は彼の要素をわたしたちに注入し、わたしたちを神格においてではなく命と性質において彼であるのと同じにします――Ⅱコリント 13:14。

３．神のエコノミーは、わたしたちがキリストを食べて彼で構成されることです――ヨハネ 6:57。

４．主をわたしたちの養いとして享受するなら、彼はわたしたちの存在の構成要素となります――32-33, 35, 51, 53-56 節。

５．神聖な命の中で、神聖な命の法則の働きによって、神はわたしたちの中に造り込まれ、わたしたちは彼の命と性質の中で彼をもって構成されます――ローマ 8:2,

6, 10-11, 29。

C．神の選ばれ、贖われ、再生された、神と一であり、神で構成された人として、わたしたちは神を生きるべきです――ピリピ 1:21 前半：

1．神のエコノミーは、ご自身をわたしたちの中に造り込んで、わたしたちが彼を命また命の供給とし、彼を生きることです――ヨハネ 11:25．6:48, 57。

2．神のエコノミーによれば、神の意図は彼の要素、彼の実質、彼の性質の成分をわたしたちの存在の中に分け与えて、わたしたちが彼を生きることです――ローマ 8:2, 6, 10-11。

3．わたしたちの日常生活は実は神ご自身であり、こうして絶えず神を生きる生活であるべきです。神にふさわしく歩くとは神を生きること、すなわち、日常生活で神を表現することです――Ⅰテサロニケ 2:12．Ⅰコリント 10:31。

4．今日わたしたちは神聖な命と神聖な性質にあずかっており、人性において神を生きることができます――ガラテヤ 2:20。

D．神の選ばれ、贖われ、再生された、神と一であり、神で構成され、神を生きる人として、わたしたちは神を表現すべきです――創 1:26．Ⅱコリント 3:18．ローマ 8:29．コロサイ 3:10：

1．神の永遠の目的は、ご自身を命としてわたしたちの中に造り込んで、わたしたちが彼を表現することです――エペソ 1:11．3:11．Ⅱテモテ 1:9。

2．神は人を彼のかたちに、彼の姿にしたがって創造しました。その目標は、人が神の複製となって彼を表現することです――創 1:26。

3．神のエコノミーにおける意図は、ご自身を命また性質としてわたしたちの中に分与して、わたしたちを命と性質において彼であるのと同じにし、彼を表現することです――エペソ 3:16-21。

4．人性の美徳はわたしたちの中で、わたしたちが神と彼の属性を食べ、飲み、消化し、同化することを通して生み出され、神の表現となります―― 4:1-3。

5．神のエコノミーにおける目標は、わたしたちが彼と一になり、彼を生きて彼の団体の表現となることです――Ⅰコリント 6:17．ピリピ 1:21 前半．エペソ 1:22-23。

E．神の選ばれ、贖われ、再生された、神と一であり、神で構成され、神を生き、神を表現する人として、わたしたちは神と共に行動すべきです――ヨシュア1:1-9．6:1-16：

1．主を愛し追い求める者は煙の柱となる段階に達するとき、霊的で、安定し、揺り動かされず、こうして資格づけられて神と共に行動します――雅 3:6。

2．エゼキエル第 1 章 15 節から 21 節の大きな車輪は神のエコノミーであるだけでなく、神のエコノミーの行動でもあります。

3．神はイスラエルの子たちが、大きな車輪としての彼のエコノミーにおける彼の行動の中で、彼と協力することを必要としました――ヨシュア 1:1-9．6:1-16。

4．わたしたちは神の心の願いの中で、また地上での神の行動の中で、神と一になる必要があります――エペソ 1:5, 9．啓 14:1-4。

F．神の選ばれ、贖われ、再生された、神と一であり、神で構成され、神を生き、神を表現し、神と共に行動する人として、わたしたちは神を代行すべきです――創 1:26-28：

1．神は万物に対する主権を人に与え、人が彼を代行するようにしました―― 28 節。

2．権威をもって神を代行するために、わたしたちは命において神を表現しなければなりません。アロンは復活の命を持って神を表現したので、権威を持って神を代行しました―― 26．2:9 節．民 17:1-8。

3．神のために働く正しい道は、神を代行することです――出 7:1-2。

4．神の代理として、わたしたちは自分の言葉を語らず、自分の働きを行ないません。なぜならわたしたちはやぶであり、主はやぶの中で燃える火であるからです――ヨハネ 5:19, 30．7:17-18．8:28．12:49-50．出 3:2-4。

Ⅱ．神の選ばれ、贖われ、再生された、神と一であり、神で構成され、神を生き、神を表現し、神と共に行動し、神を代行する人として、わたしたちは活動する神として機能します：

A．神はわたしたちを命、性質、表現、機能において彼であるのと同じにして、彼のエコノミーを完成することができます――コロサイ 3:4．Ⅱペテロ 1:4．エペソ 3:9。

B．キリストの命の円熟において、雅歌に描写されているように、勝利者たちは神格においてではなく、命、性質、表現、機能においてキリストと同じになります――雅 6:13．7:11-12。

C．神は彼の種類にしたがって人を創造しました。それは、人が彼の複製また複写となって、神を表現し、神を代行するという意図をもってです――創 1:26。

D．「エホバはモーセに言われた、『見よ、わたしはあなたをパロに対して神とした』」――出 7:1 前半：

1．モーセにおいて、神は彼を代行し、彼のみこころを執行する者を持ちました。モーセは決してパロに、自分自身について語らず、主が言うようにと彼に告げたことを常に語りました―― 3:16-18．5:1。

2．実は、パロは神の大使であるモーセに聞き従い、彼に対して対処していたのではありません。彼は神に聞き従い、神に対して対処していたのです。

E．サムエルは神の代理であって、地上で彼の民を支配しました。ですから、サムエルは活動する神でした――サムエル上 1:11．2:35．7:3．8:22：

1．サムエルが活動する神となることができたのは、彼の存在と神の心が一であったからです―― 2:35：

ａ．彼は神の心にしたがった人でした。すなわち、彼は神の心の複写、複製でした。

ｂ．神の思いはサムエルの考慮の中にありました。彼には他の考えや考慮はありませんでした。

ｃ．サムエルの生活と働きは、何であれ神の心の中にあることを完成するためでした。

2．サムエルは神の託宣また神の行政であり、こうして彼は活動する神でした。

F．預言者エリシャは彼の務めにおいて、神の人として、神の代理として、活動する神として振る舞いました。今日わたしたち、キリストにある信者は同じになることができます――列王下 4:9．Ⅰテモテ 6:11．Ⅱテモテ 3:17。

G．パウロは彼の務めにおいて活動する神でした。それは信者たちを慰めることにおいて、神の純粋さの中で振る舞うことにおいて、神のねたみを現すことにおいて、キ

リストの大使となって和解の務めを完成することにおいてです――Ⅱコリント 1:3-4, 12．11:2．5:20。

Ⅲ．神の選ばれ、贖われ、再生された、神と一であり、神で構成され、神を生き、神を表現し、神と共に行動し、神を代行師、活動する神として機能する人として、わたしたちは建造し建造される神を供給し、神の建造を内在的に構成します：

A．新契約の奉仕者は彼らの務めと一です。これは、奉仕者が務め「である」ことを意味します―― 4:1：

1．彼らの務めは彼らであるものであって、単に彼らが行なうこと、あるいは彼らが成し遂げる働きではありません。

2．新契約の奉仕者の内なる存在は彼らの務めです。彼らの務めは彼らであるものです。

3．新契約の務めにおいて数えられるのは、新契約の奉仕者が彼らの存在において、また彼らの生活において何であるかです―― 2:14-17．3:5-6．4:1-2, 5-6。

B．わたしたちの働きの内在的な要素は、わたしたちが建造し建造される神を人の中に供給し、キリストのからだを建造することです――マタイ 16:18．エペソ 3:17 前半．4:4, 12, 16：

1．わたしたちの働きの目標は、建造し建造される神を人の中に供給することであるべきです。これが、主の回復におけるわたしたちの働きの極めて重要な事柄です―― 2:21-22。

2．わたしたちは主のために行なっている働きを再考慮し、三一の神の具体化としてのキリストがどれほど、わたしたちが主にもたらした人たちの中に造り込まれてきたかを尋ねるべきです――コロサイ 2:9．1:28．ガラテヤ 4:19。

3．わたしたちは、主がわたしたちを教えて、手順を経て究極的に完成された三一の神を人の中に供給する方法で働かせてくださるように祈る必要があります――Ⅱコリント 13:14．Ⅰコリント 3:9-10, 12。

4．わたしたちが努力して、生み、養い、成就し、建造する四つの段階における神の定められた道を遂行するとき、わたしたちの働きは、手順を経て究極的に完成された三一の神に基づいていなければなりません。彼はご自身を彼の贖われた人の中に建造し、彼らを彼の中に建造しつつあります。

C．神の建造の内在的な構成は、手順を経て究極的に完成された三一の神が、彼の贖われ、再生され、造り変えられた三部分から成る選民とミングリングされ、彼らの中に建造されることです――サムエル下 7:12-14 前半．エペソ 3:17 前半．2:21-22。

D．キリストはご自身を、わたしたちの内なる構成要素としてわたしたちの中に建造しつつあります。この建造の結果は、わたしたちが特別な階級の人、すなわちキリストのからだの肢体となることです――ローマ 12:4-5．エペソ 5:30。

E．神の建造は、三一の神がわたしたちの中に造り込まれ、わたしたちとミングリングされて、彼の継続的な分与の下で、わたしたちが彼の団体の表現、すなわちキリストのからだとなって、新エルサレムにおいて究極的に完成することです―― 3:17 前半, 19 後半, 21．4:4-6．啓 21:2。

©2006 Living Stream Ministry